

## 第3節 知的基盤の強化

防衛大綱では、安全保障・危機管理に対する国民の理解を促進するため、教育機関等における安全保障教育の推進に取り組むこととしている。また、防衛省・自衛隊において、防衛研究所による研究と政策支援を高い水準で両立させるため、政策部門との

間の連携を促進するとともに、防衛研究所を中心とする研究体制を一層強化することとしている。これまで行われてきた取組を含め、知的基盤の強化に関する取組を、以下で説明する。

### 1 知的基盤の強化に向けた防衛省の取組

様々な課題や不安定要因がより顕在化・先鋭化してきており、わが国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増していることを踏まえ、防衛省の研究・教育機関において、平素から研究の質をより高め、その成果をわが国の政策立案に反映していくとともに、そうした研究の成果を含め、わが国の安全保障政策に関する知識や情報について、より一層国民の理解を増進することが重要になってきている。このため、防衛省・自衛隊の防衛研究所や各種学校等においては、

① 国内外の研究・教育機関や大学、シンクタンク

等とのネットワーク及び組織的な連携を通じた、防衛省・自衛隊の研究体制の強化

② 高度な専門知識と研究力に裏付けされた質の高い研究成果等の政策立案部門等への提供

③ 上述の研究成果等を基にした信頼性の高い情報発信

④ 教育機関等への講師派遣や公開シンポジウムの開催等を通じた、安全保障教育の推進への寄与等、知的基盤の強化に関する各種取組を進めてきている。

### 2 防衛研究所における取組

防衛研究所は、国立の安全保障に関する学術研究・教育機関という特色を活かし、主に安全保障及び戦史に関し政策指向の調査研究を行うとともに、自衛隊の高級幹部等の育成のための国防大学レベルの教育機関としての機能を果たしている。加えて、公文書管理法に基づく歴史資料等保有施設として、多数の戦史史料の管理及び公開を行っており、わが国最大の戦史研究センターとしての役割も担っている。

また、国際交流及び情報発信も重視している。各国との信頼関係の増進による安全保障への貢献と調査研究及び教育の質的向上を目的に、諸外国の国防大学・安全保障研究機関等との研究交流、共同研究などを行っているほか、主な研究成果をホームページ上で公開、毎年、『中国安全保障レポート』や『東

アジア戦略概観』を含む、各種刊行物を発行するなど、積極的に情報発信<sup>1</sup>を行っている。

さらに、国内外の有識者を招き、「安全保障国際シンポジウム」「戦争史研究国際フォーラム」「ASEANワークショップ」などの国際会議を主催するほか、ASEAN地域フォーラム (ARF) 国防大学校長等会議及び北大西洋条約機構 (NATO) 国防大学校長等会議のメンバーとして、毎年これらの会議に参加している。

防衛研究所は、2022年8月1日に創立70周年を迎える。今後も時代の要請に基づき、わが国の安全保障に関する研究をリードする役割を果たすよう努めていく。

1 防衛研究所の研究成果は、防衛省の政策立案の資として適時提供され、『東アジア戦略概観』、『中国安全保障レポート』、『安全保障戦略研究』、『戦史研究年報』、『INIDSコメンタリー』、『ブリーフィング・メモ』など、主なものは防衛研究所ホームページ上でも一般に公開している。

### 3 その他の機関における取組

防衛大学校は、自衛隊の幹部となるべき者の教育訓練及び自衛官等に対するより高度な教育訓練とともに、これらに必要な研究を行う役割を担っている。

かかる役割のもと、防衛大学校では、一般学術研究や防衛政策に関連する研究を多数実施し、高度な研究水準を保持している。令和4(2022)年度からは従来以上にデュアル・ユース技術を意識した防衛関連の基礎研究などを実施し、その研究成果を省内の他機関(防衛装備庁等)にフィードバックすることとしている。

また、防衛大学校の研究成果については、グローバルセキュリティセンター<sup>2</sup>が扱うテーマを中心に、防衛大学校が主催するセミナーやコロキウムでの発表、『セミナー叢書』や『研究叢書』といったオンラ

イン媒体の発行などを通じ、広く部外に発信している。

自衛隊の幹部学校等においては、定期的に安全保障に関する各種のセミナーやシンポジウムを開催し、産(企業)・官(政府及び地方公共団体)・学(大学等)からの研究員などの参加を得て、様々な視点からの討議や意見交換を通じ、将来のわが国の安全保障などに関する調査研究の資としている。

また、客員研究員の受入れや、国内外の教育機関、研究機関等との交流などにより、調査研究に必要な知見及び情報を得て、教育・研究の質の維持向上に努めている。また、主な研究成果をホームページ上で公開しているほか、各種刊行物を発行するなど、積極的に情報発信<sup>3</sup>を行っている。

2 グローバルセキュリティセンターは、先端学術推進機構に設置された部署であり、グローバルセキュリティにかかる研究又は共同研究(防衛装備庁等と共同して行う研究をいう。)の企画、立案及び実施やグローバルセキュリティにかかる研究成果の部外発信に関する事務を担っている。

3 陸上自衛隊教育訓練研究本部は『陸上防衛』、海上自衛隊幹部学校は『海幹部戦略研究』及び航空自衛隊幹部学校は『エア・アンド・スペースパワー研究』などを公開している。